



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化し、 電柱を撤去しました

地元の声

- ・電柱がなくなれば、景観が良くなり商店街も活性化する。（商店街関係者）
- ・電柱がなくなることで、安全に歩道を歩けます。（地元住民）

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがありました。



事業前の状況

事業後

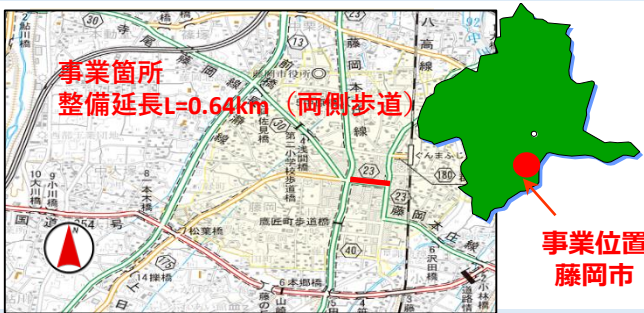
- ◆道路上の電柱がなくなり、災害時の安全な通行が確保されました。



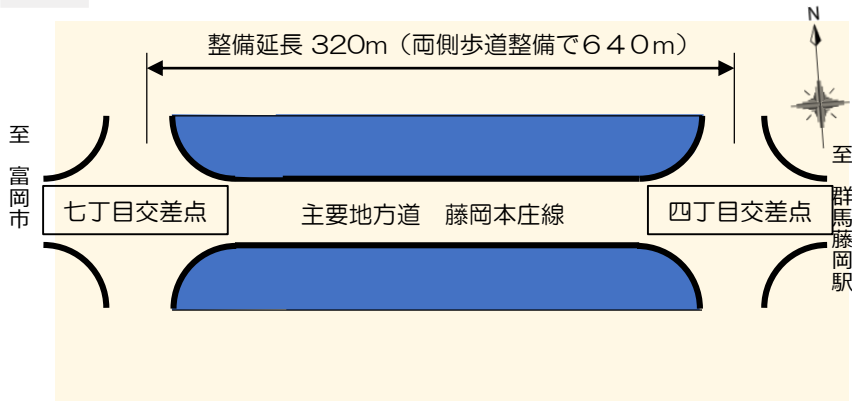
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市藤岡
- 事業内容：歩道整備 延長 320m 歩道幅 3.75m
電線共同溝整備 延長 640m
- 事業期間：平成26年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和5年度は、舗装復旧工事と電線類の地中化を実施し、事業が完了しました。

